

平成23年 5月24日

**福山河川国道事務所
からのお知らせ**

資料提供先 福山市市政記者クラブ

**福山市中心部の国道2号で自転車走行環境(自転車歩行者分離)
の整備が一部完了し、整備効果の検証を行いました！**

■ 概要

一般国道2号の福山市中心部に位置する当該地区では、歩行者と自転車がより安全で安心して通行できるように歩行者と自転車の通行位置を明示する工事を行いました。

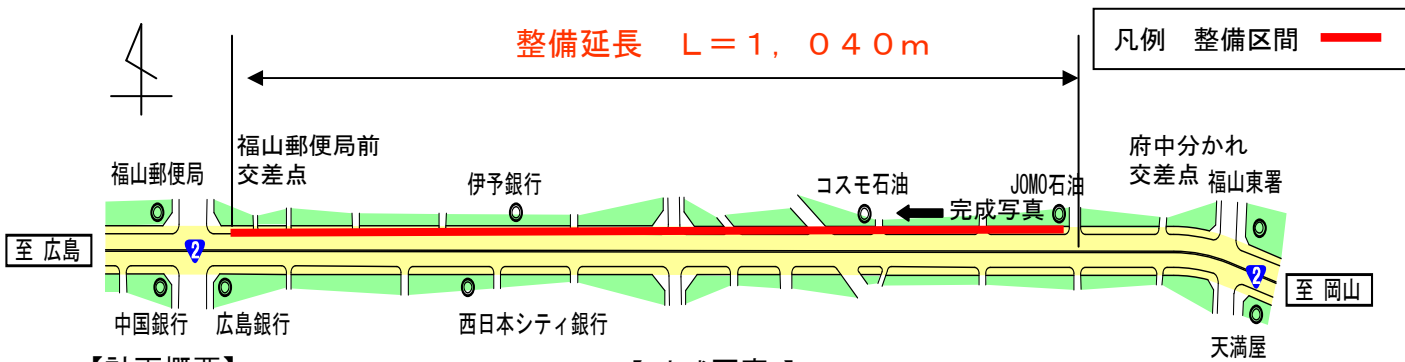
また、道路利用者アンケートやビデオ撮影による調査を行い、当整備による誘導効果、安全性・快適性等の整備効果検証を行いました。

- 完成日：平成23年3月30日(水)
- 場所：広島県福山市延広町～入船町地内
(福山郵便局前交差点～府中分かれ交差点)
- 検証結果：○自転車と歩行者の通行の安全性。
 - ・約7割の自転車利用者・歩行者の方が「安全になった」と実感。○自転車と歩行者の通行の快適性。
 - ・約7割の自転車利用者・歩行者の方が「走りやすくなった」と実感。○誘導効果。
 - ・約8割の自転車利用者・歩行者の方がルールを守っていました。

お問い合わせ先	
国土交通省 中国地方整備局 福山河川国道事務所	
副 所 長	ふじわら 藤原 光雄
【担 当】調査設計第二課長	あらき 荒木 勲
TEL (084) 923 - 2620(代表) FAX(084) 923 - 2517	
ホームページ http://www.cgr.mlit.go.jp/fukuyama/	
【広報担当窓口】調査設計第二課長	あらき 荒木 勲
TEL (084) 923 - 2620	

幹線道路の異状を発見したら・・・
道路緊急ダイヤル 緊急通報# 9910へ

■ 国道2号の自転車走行環境の整備について



【計画概要】

上図の区間の北側歩道（福山郵便局前交差点～府中分かれ交差点）において、既存の自転車歩行車道の路面に区画線及び区分マーク、案内表示板を設置することにより自転車と歩行者の通行位置を明示した。

【完成写真】



区画線

案内表示板



区分マーク



【整備効果検証結果】

◆安全性

【自転車】

【歩行者】



■ 安全になった ■ 危険になった ■ どちらでもない

■ 安全になった ■ 危険になった ■ どちらでもない

- ・「安全になった」が、自転車利用者、歩行者でも70%程度となり、多数を占めている。
- ・安全になったと感じる理由は、「歩行者・自転車と交錯しなくなる」が最も多かった。
- ・「案内表示板が危険に感じる」という意見もあった。

◆快適性

【自転車】

【歩行者】



■ 走りやすくなった ■ 走りにくくなった ■ どちらでもない

■ 歩きやすくなった ■ 歩きにくくなった ■ どちらでもない

- ・「走りやすさ」が、自転車利用者、歩行者でも70%を越え、多数を占めている。
- ・走りやすくなった理由は、「歩行者・自転車を気にせずに行けることができる」が最も多かった。
- ・「案内表示板が邪魔」という意見もあった。

◆誘導効果



■ 守っていた ■ 守っていなかった

- ・遵守率は高く、誘導効果は高いと考えられる。

案内表示板について、特に夜間について危険に感じるとの声があり、夜間でもしっかり見える反射テープを設置して対応を行ったところですが、今後も利用者の意見を取り入れた自転車走行環境の整備に取り組んでいきます。